



### ベトナム大使館から参事官が雪国まつりを訪問 ベトナムにはない雪国文化を体験

2月10日、駐日ベトナム大使館のグエン スアン ティエン参事官・投資促進部長が町長室を訪れ、薄町長と懇談しました。ティエン参事官が町を訪れたのは雪国まつりを視察するため、雪国まつりのオープニングセレモニーにも出席しました。雪上花火や歳の神などを観覧し、ベトナムにはない雪国の文化を体験していました。写真=町長室での記念撮影



### 慎重に狙いを定め、高得点目指して輪を放つ！ 熱戦！町長杯争奪親善輪投げ大会

2月16日、さゆり公園体育館で第23回町長杯争奪親善輪投げ大会が開かれました。  
団体 優勝=黒沢Aチーム、準優勝=上原Bチーム、第3位=上原Aチーム・長寿Aチーム  
個人 最優秀選手賞=須藤幸子さん（新郷中央B）、優秀選手賞=渡部カツ子さん（黒沢B）・五十嵐輝夫さん（下野尻A）



### 3年生が自分の体験をもとに後輩にアドバイス 西会津高で進路体験発表会

進路を決めた3年生が後輩の1・2年生に進路実現までの体験を紹介し、今後の進路決定に役立ててもらうための行事「進路体験発表会」が2月2日、西会津高校で開かれました。当日は5人の3年生が約60人の後輩を前に、各10分間の持ち時間で4年制大学への進学や就職などについてアドバイスしました。1・2年生は身近な先輩の話真剣に聞いていました。



### 中野区むらおこし実行委員会が参拝客をおもてなし 二年参りで大山祇神社にぎわう

旧暦の大晦日にあたる2月15日から元旦の16日にかけて、大山祇神社は二年参りに訪れた参拝客でにぎわいました。当日は、中野区むらおこし実行委員会の皆さんが参拝に訪れた皆さんのために会津の伝統行事・歳の神を行ったほか、年越しそばや餅などを振る舞いました。大山祇神社は、2年にわたって参拝すると心願成就が果たせると古くから言い伝えられています。



歓迎の言葉を述べた塚原蒼さん

2月9日から11日にかけて、沖縄県大宜味村児童生徒との冬季交流事業が行われ、本町の交流団と大宜味村の交流団の皆さんが7月に沖縄県で行われた夏季交流以来、約半年ぶりに再会しました。

9日に行われた歓迎式では、大宜味村の児童生徒らが雪国まつりで沖縄の郷土芸能「エイサー」を披露するお返しとして、西会津小の児童らが会津の民謡「会津磐梯山」の演奏を披露しました。

児童生徒の皆さんは、10日はホームステイ家庭でそれぞれ交流を深め、11日は雪国まつりに参加するなどして雪国の冬を思いきり楽しみました。

11日の午後1時15分からは、本町のお別れ式では、本町の児童生徒を代表して若林凛々子さんが「これからもこの出会いを大切にしていきたいです」と話し、大宜味村からは仲原望愛さんが「温かく迎えてもらい感謝の気持ちでいっぱい입니다。3日間ありがとうございました」とお別れの言葉を述べました。

沖縄県大宜味村児童生徒との冬季交流事業  
雪国でのホームステイで友情深める

## 文化財防火デー合同消防訓練 文化財を火災から守る

先人が遺した貴重な財産を火災から守るとともに、迅速かつ的確な消防技術の習得を図るため、1月28日に文化財防火デー合同消防訓練が行われました。当日は、観音寺（呼賀）の庫裏から出火した火災が強風にあおられ、本堂への延焼が危ぶまれ始めたという想定のもと、重要物件搬出訓練や応急手当訓練、初期消火訓練、消防団・消防署による放水訓練、消火器と消火栓の取り扱い訓練などが行われ、町および消防関係機関、呼賀・平明地区の住民など約80人が参加しました。

薄町長は訓練後の講評で「本日の訓練を契機に文化財の保護・愛護に取り組み、予防消防のさらなる充実に努めてほしい」と呼びかけました。



## ジョセササイズで楽しく雪片し 駒沢女子大学の学生が 除雪ボランティア

駒沢女子大学「アクティ部」の皆さんが2月4日から3日間、本町の小清水地区などを訪れ、田舎暮らし体験や除雪ボランティアを行いました。学生の皆さんは、除雪とエクササイズを掛け合わせた「ジョセササイズ」を提唱する日本ジョセササイズ協会の会員や西会津富士の郷の皆さんのアドバイスを受けながら除雪ボランティアに取り組み、地域住民と交流しました。

地域貢献活動を行うアクティ部の皆さんが本町を訪れるのは今年で4回目で、参加した学生は「(除雪作業は)大変だったけれど、また来年も西会津町を訪りたい」と話していました。写真提供=日本ジョセササイズ協会



## 社会科の授業の一環で「情報」について学習 5年生がケーブルテレビを見学

2月6日、西会津小5年生の皆さんが社会科の授業の一環で町のケーブルテレビを訪れ、ケーブルテレビが導入された理由やケーブルテレビの仕事について学習しました。(一社)ケーブルネットの大出所長が説明を始めると、5年生の皆さんは時折メモを取りながら真剣に耳を傾けていました。説明の後には、実際の機材を使ってアナウンサー体験を行いました。

## 西会津更生保護協議会から6人が受賞 福島県更生保護大会で表彰

昨年11月7日に郡山市で福島県更生保護大会が開かれ、町内では次の皆さんが表彰されました。更生保護法人全国保護司連盟理事長表彰=矢部幸彦さん(宮野)、佐藤洋子さん(6町内)、東北地方保護司連盟会長表彰=岩原稔さん(7町内)、東北地方更生保護女性連盟会長表彰=伊勢亀やす子さん(下小島)、佐藤洋子さん(下小島)、福島保護観察所長表彰=高濱秀道さん(8町内)



↑写真は2月6日の西会津更生保護協議会全体研修会にて



## カローリングで冬場の運動不足を解消！ 町民カローリング大会で熱戦

2月3日、さゆり公園体育館で第8回町民カローリング大会が開かれました。一般の部18チーム、小学生の部3チームの合計21チームが熱戦を繰り広げ、一般の部は「カメチーム」、小学生の部は「松尾3兄弟チーム」が優勝の栄冠を手に入れました。

町民カローリング大会は、町公民館が冬場の運動不足解消と世代間交流を目的に毎年開催しています。

## 交通事故が1件でも減少することを願い 今年1年の町の交通安全を祈願

1月28日、大山祇神社で交通安全祈願祭が行われました。当日は、交通安全団体の関係者など約50人が参加し、宮司による神事後、各団体の代表者らが玉串奉奠を行い今年1年の交通安全を祈願しました。喜多方地区交通安全協会西会津支部の本間義治支部長は、「昨年<sup>ほうてん</sup>の交通死亡事故ゼロを今年も継続できるよう、安全なまちづくりを呼び掛けたい」と話しました。

